

直近の学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について

令和5年1月26日時点

開催日時	開催場所・形式	名称
1月25日（水） 14：00～16：15 1月26日（木） 19：00～21：00	オンライン開催	国際シンポジウム 「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2022『災害と健康』」
1月28日（土） 13：00～16：00	オンライン開催	公開シンポジウム 「ダイバーシティ推進と日本社会の＜不平等＞」
2月4日（土） 13：00～17：10	オンライン開催	公開シンポジウム 「デザインの概念とその広がりー社会的理解をめざして」
2月15日（水） 13：30～16：00	国立研究開発法人防災科学技術研究所（ハイブリッド開催）	日本学術会議 in つくば 公開講演会「持続的かつレジリエントな道筋への移行」
2月17日（金） 13：30～15：30	日本学術会議講堂（ハイブリッド開催）	公開シンポジウム 「数理・データサイエンス・時代における統計科学の教育及び研究について」
2月23日（木・祝） 13：00～16：00	オンライン開催	公開シンポジウム 「子ども政策の総合化を考えるⅡ 乳幼児の学びの保障：幼児教育と小学校教育の接続の観点から」
2月24日（金） 13：30～16：40	日本学術会議講堂（ハイブリッド開催）又はオンライン開催	公開シンポジウム 「子育て支援の継続性を高めるためにー新たな視点の提案ー」

※新型コロナウイルス等の状況により、開催形態が変更となる可能性がありますので、学術フォーラム・公開シンポジウム等の参加前には日本学術会議ホームページを御確認ください。

持続可能な社会のための 科学と技術に関する国際会議

2022年度

International Conference on Science and Technology for Sustainability

「災害と健康」

開催概要

会 期：2023年1月25日(水)、1月26日(木)
 開催形式：ZOOM ウェビナー
 定 員：約1,000名
 主 催：日本学術会議（国際委員会持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2022 分科会）
 後 援：日本社会福祉系学会連合
 国際ソーシャルワーク学校連盟



プログラム

* プログラム・出席者ともに変更になる可能性があります。

日 程	タイトル	概 要
1月25日(水)『公衆衛生資源の備えとガバナンスの強化』		
14:00-14:05	開会挨拶	梶田 隆章（日本学術会議会長／東京大学卓越教授、東京大学宇宙線研究所・教授）
14:05-14:10	来賓挨拶（ビデオ）	後藤 茂之（内閣府特命担当大臣（経済財政政策））
14:10-14:20	趣旨説明	武田 洋幸（東京大学執行役・副学長／東京大学大学院理学系研究科教授） 郡山 千早【モデレーター】（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科教授）
14:20-14:35	基調講演	ショウ ラジブ（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）
14:35-14:50	ショートスピーチ 1	国井 修（公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金CEO兼専務理事）
14:50-15:05	ショートスピーチ 2	後藤 あや（公立大学法人福島県立医科大学総合科学教育研究センター教授） 郡山 千早【モデレーター】
15:05-16:15	ディスカッション 1	ショウ ラジブ 国井 修 後藤 あや
1月26日(木)『防災と福祉～誰一人取り残さない社会の構築～』		
19:00-19:05	趣旨説明	武田 洋幸（東京大学執行役・副学長／東京大学大学院理学系研究科教授） 和氣 純子【モデレーター】（東京都立大学大学院人文科学研究科教授）
19:05-19:20	ショートスピーチ 3	Lena Dominelli（スターリング大学災害介入・人道支援プログラムディレクター）
19:20-19:35	ショートスピーチ 4	立木 茂雄（同志社大学社会学部教授）
19:35-19:50	ショートスピーチ 5	Louise Harms（メルボルン大学ソーシャルワーク部長・チェア）
19:50-20:05	ショートスピーチ 6	Johnston H. C. Wong（北京師範大学-香港バプティスト大学連合国際学院人文社会科学部社会科学科教授） 和氣 純子【モデレーター】
20:05-20:55	ディスカッション 2	Lena Dominelli 立木 茂雄 Louise Harms Johnston H. C. Wong
20:55-21:00	閉会挨拶	高村 ゆかり（日本学術会議副会長／東京大学未来ビジョン研究センター教授）

申込方法

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_40HIQUsqQ7WbBFSTs02MNA

受付期間：2022年11月15日(火)～2023年1月25日(水) 正午 ※定員になり次第締め切り

お問い合わせ：持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2022 事務局
 （株式会社日本旅行 公務法人営業部）

TEL：03-5369-4533 / FAX：03-3225-1004 / E-mail：stst@nta.co.jp

営業時間：9:45-17:45（土・日・祝日・年末年始（12月28日～1月4日）は休業）

※休業日、営業時間外にお送りいただいたメールへの返信は翌営業日以降となります。



ダイバーシティ 日本社会への 推進と

山田信行

駒澤大学文学部教授

樋口直人

早稲田大学人間科学部教授

田垣正晋

大阪公立大学現代システム科学域教授

林 香里

東京大学情報学環教授

報告者

近年、「ダイバーシティ推進」が各分野で唱えられる一方で、それを拒むような動きも生れている。この複雑な動きが、どのような関係性のもとで生じているのか。そこに、社会的領域の違いを超えて、日本社会全体に共通した思想的・社会的・制度的問題はないのか。

本公開シンポジウムは、社会学が対象にするフィールド全体にかかわるこの問題について、多様な分野から報告をおこない、多角的に議論することを目指す。

2023年（令和5年）

1月28日（土）

13：00～16：00

（ZOOMによるオンライン開催）

参加申し込み（先着500名）

<https://forms.gle/TjNjNMnts4HRwM1q9>

司会

伊藤 守

早稲田大学教育・総合科学学術院教授

木下武徳

立教大学コミュニティ福祉学部教授

堅田香緒里

法政大学社会学部准教授

江原由美子

東京都立大学名誉教授

コメンテーター

主催 日本学術会議社会学委員会・社会学系コンソーシアム

デザインの概念とその広がり 社会的理解をめざして

昨今の社会および自然環境における諸課題のもとで、都市および地域の持続性を支える空間計画、施設計画・設計、マネジメントを推進するためには、既存の枠組みや空間単位を柔軟に横断・反復することが不可欠である。こうした多様な計画・設計・マネジメントの有機的統合を図るため、可視的で統合的な概念である「デザイン」への期待が高まっており、デザインをめぐる知の構築が求められている。

本シンポジウムでは、デザイン領域の広がり、造形デザインの価値、情報科学とデザイン、デザインの主体、自然と人間の関係構築のためのデザインなど、多様な視点から都市・地域をめぐるデザインについて考え、デザインすることの意味と可能性、幅広い価値の伝え方などについて議論する。地域の価値を高め、人々のウェルビーイングとソーシャル・キャピタルの充実をはかり、経済価値をもたらすことを通じて持続的な都市・地域の実現に資するデザインのあり方に向けた手がかりを得る。

オンライン開催

お申込はこちら



2023年2月4日(土)13:00～17:10

<https://forms.gle/TiT5YBgYBBBww7>

(解題) 都市・地域をめぐるデザインへの問い

佐々木 葉・早稲田大学

デザインの社会的認識と評価

田中 一雄・GK デザイングループ

情報学におけるデザイン・デザインにおける情報学

中小路 久美代・公立はこだて未来大学

デザインの主体をひろげるーコ・デザインの可能性

上平 崇仁・専修大学

自然と人間をつなぐ土木デザイン

星野 裕司・熊本大学

総合討論 パネリスト：古谷 誠章・早稲田大学、講演者

コーディネーター：佐々木 葉



SASAKI, Yo



TANAKA, Kazuo



NAKAKOJI, Kumiyo



KAMIHIRA, Takahito



HOSHINO, Yuji



FURUYA, Nobuaki

「日本学術会議inつくば」公開講演会

持続的かつレジリエントな 道筋への移行

環境・開発と防災・減災という、学術的背景も国際協調の議論の経緯も異なる

この2つの分野の統合的な推進が今こそ求められています。

この会議では、つくば学園都市の国立環境研究所と防災科学技術研究所を中心とする学術分野と、

関東地区の行政、民間企業、市民組織が協力して、持続的かつレジリエントな道筋への移行について議論します。

事前登録制
参加費無料

どなたでも
ご参加頂けます

申し込みは
コチラ



令和5年 2月15日 水 13:30~16:00

防災科学技術研究所 (茨城県つくば市天王台3-1)
研究交流棟 和達記念ホール

会場
MAP



ハイブリッド開催

防災科学技術研究所 先着 70 名

Zoomオンライン配信 先着 500 名

●つくばエクスプレス「つくば駅」から、つくバス北部シャトル「筑波山口」行き
「花畑（防災科学技術研究所）」下車徒歩3分

※ご来場の際は、公共交通機関のご利用をお願いいたします。（お車でお越しの場合には、駐車スペースに限りがございます。）

プログラム

司会進行：三枝 信子（日本学術会議第三部会員、国立環境研究所地球システム領域領域長）

■ 開会挨拶 梶田 隆章（日本学術会議会長）

■ 主催挨拶・趣旨説明 林 春男（日本学術会議連携会員、防災科学技術研究所理事長）

■ 基調講演

「気候変動への対応と持続可能でレジリエントな社会」 三村 信男（茨城大学地球・地域環境共創機構特命教授）

■ 話題提供

● 市民活動

環境・開発：島田 幸子（関東地方ESD活動支援センター）
防災・減災：澤野 次郎（災害救援ボランティア推進委員会委員長）

● 行政の取組

環境・開発：向後 昌弘（佐倉市企画政策部長）
防災・減災：藤光 智香（つくば市政策イノベーション部長）

● 民間企業の取組

環境・開発：安部 大介（株式会社ウェザーニューズ常務執行役員）
防災・減災：相澤 益男（日本防災産業会議会長）

● 学術分野の取組

環境・開発：日下 博幸（筑波大学計算科学研究センター教授）
防災・減災：岩波 越（防災科学技術研究所研究主監）

■ パネルディスカッション

モデレータ／小池 俊雄（日本学術会議第三部会員、土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM）センター長、東京大学名誉教授、政策研究大学院大学連携教授）

■ 閉会挨拶 森口 祐一（日本学術会議連携会員、国立環境研究所理事、東京大学名誉教授）

- ・当日会場内ではマスクをご着用ください。
- ・体調の悪い方は会場参加をご遠慮いただきますようお願いいたします。
- ・会場では新型コロナウイルス感染症対策のための各種施策を講じております。参加の際はご協力のほどお願いいたします。
- ・会場の様子は、オンライン配信のための動画撮影、写真による記録撮影を行っており、アーカイブ配信や広報での使用等を予定しております。予めご了承ください。
- ・今後の新型コロナウイルスの感染の状況の変化に応じて、やむをえず現地会場開催を変更し、オンラインのみの開催とする場合があります。予めご理解いただきますようお願いいたします。

主催：日本学術会議

共催：国立研究開発法人 防災科学技術研究所、国立研究開発法人 国立環境研究所
後援：防災減災連携研究ハブ（JHoP）、公益財団法人日本学術協力財団

数理・データサイエンス・AI時代における統計科学の教育及び研究について

本格的なデータの時代を迎えて、特に日本で関連の研究人材および高度専門職人材が不足している中で、コンピュータサイエンス・数理科学・統計科学を融合した数理・データサイエンス・AI教育の体系化が構築されつつある。本シンポジウムでは、統計科学の観点から、教育および研究に関する現状と課題、国際動向、展望を多様な角度から議論し、社会発信の場とする。

Program 総合司会 渡辺 美智子（日本学術会議連携会員、立正大学データサイエンス学部教授）

13:30	開会挨拶及び趣旨説明 竹村 彰通（日本学術会議連携会員、滋賀大学長）
13:45	講演I『機械学習分野における研究・人材育成の動向と課題』 杉山 将（理化学研究所 革新知能統合研究センター センター長 東京大学 大学院新領域創成科学研究科複雑理工学専攻 教授）
14:15	講演II『国際および国内産業界における統計的手法を活用した問題解決手法・シックスシグマ（Six Sigma）の現状 ～統計プロフェッショナル育成と国際認証に関する課題と展望を踏まえて～』 石山 一雄（ISO TC69 統計的方法の応用 /SC7シックスシグマ日本代表委員、 ISO TC69/SC7・SC8国内合同委員会副査、 中国質量協会シックスシグマ管理推進工作委员会専門家委員）
14:45	総合討論 司会 青嶋 誠（日本学術会議連携会員、筑波大学数理物質系教授） ① 石山 一雄（ISO TC69 統計的方法の応用 /SC7シックスシグマ日本代表委員） ② 戸谷 圭子（日本学術会議連携会員、明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究科教授） ③ 中谷 多哉子（放送大学情報コース教授） ④ 竹村 彰通（日本学術会議連携会員、滋賀大学長）
15:25	閉会挨拶 栗木 哲（日本学術会議連携会員、情報・システム研究機構統計数理研究所教授）

令和5年 ハイブリッド開催

2月17日(金)

13:30～15:30

会場 日本学術会議講堂
(東京都港区六本木 7-22-34)



お申し込み

下記URLもしくは2次元バーコードからアクセスしてお申し込みください。
オンライン参加の方には後日、Zoomアドレスを送信いたします。

URL <https://forms.office.com/r/n6uVYL3NAY>

主催 日本学術会議数理科学委員会数理統計学分会、数理科学委員会数学教育分会、数理科学委員会数学分会

共催 統計関連学会連合、特定非営利活動法人横断型基幹科学技術研究団体連合、一般財団法人統計質保証推進協会

後援(予定を含む)

一般社団法人日本統計学会、応用統計学会、一般社団法人人工知能学会、一般社法人情報処理学会、日本行動計量学会、一般社団法人日本数学会、公益財団法人日本数学教育学会、一般社団法人日本経済学会、一般社団法人社会情報学会、一般社団法人経営情報学会、一般社団法人日本品質管理学会、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計数理研究所

子ども政策の総合化を考えるⅡ

乳幼児の学びの保障：幼児教育と小学校教育の接続の観点から

2023年2月23日（木・祝） 13：00 - 16：00（開場 12：30）

オンライン開催 参加費無料 事前申込制（先着1000名）

幼保小接続は、子ども政策の総合化の議論において、看過された課題でした。結果的には実現しませんでした。幼保の管轄は、義務教育とは切り離され、内閣府の外局であることも家庭庁に一元化することが目指されていました。しかし近年の、世界的な幼児教育改革の動向においては、乳幼児の学ぶ権利の保障という観点から、乳幼児期から一貫して教育系の省庁が管轄する制度が主流となっています。すなわち、日本の政策の議論において看過されているのは、乳幼児の学びの保障という観点だといえるでしょう。

本シンポジウムでは、海外の幼保小接続の動向を踏まえた上で、乳幼児の学びの保障というアイディアに基づいて幼保小接続のあり方について考えます。

プログラム

司会	野澤 祥子	（日本学術会議連携会員、CEDEP准教授）
開会挨拶	13:00	遠藤 利彦（日本学術会議第一部会員、東京大学大学院教育学研究科教授、CEDEPセンター長）
趣旨説明	13:05	浅井 幸子（日本学術会議連携会員、東京大学大学院教育学研究科教授、CEDEP副センター長）
講演 1	13:10	幼保一元化のグローバルな動向 門田 理世（西南学院大学人間科学部教授）
講演 2	13:50	幼保小接続の現在：探究でつなぐ 秋田 喜代美（日本学術会議特任連携会員、学習院大学文学部教授）
指定討論	14:30	大桃 敏行（日本学術会議連携会員、学習院女子大学国際文化交流学部教授） 中坪 史典（日本学術会議連携会員、広島大学大学院人間社会科学研究科教授、広島大学大学院人間社会科学研究科附属幼年教育研究施設長） 西岡 加名恵（日本学術会議連携会員、京都大学大学院教育学研究科教授）
総合討論	15:00	
閉会挨拶	15:55	岡部 美香（日本学術会議第一部会員、大阪大学大学院人間科学部教授）

申し込み方法

CEDEPのウェブサイトからお申し込みください。

<https://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/eventlisting/symposium/20230223symposium/>



主催：日本学術会議心理学・教育学委員会乳幼児発達・保育分科会、心理学・教育学委員会排除・包摂分科会
共催：東京大学教育学研究科附属発達保育実践政策学センター、広島大学大学院人間社会科学研究科附属幼年教育研究施設、日本保育学会、日本教育学会、教育関連学会連絡協議会

【開催趣旨】 これまで様々な子育て支援が行われているが、子どもを育てる親のストレスは軽減することではなく、虐待や少子化等の問題は依然として深刻である。

支援の対象が要支援家庭に偏っていること、すべての家庭を対象に実施される乳児家庭全戸訪問は生後4か月までと期限が限られていること等にみられるように、日本のこれまでの子育て支援は子育て中のすべての家庭のウェルビーイングを視野に入れたものになっていない。また、多くの人にとって学校教育終了後に子育てに関する教育を受ける機会も限定的である。本シンポジウムでは、より良い子育て環境の実現のために、包摂的で継続性のある子育て支援という新しい視点の導入を、子育て支援、小児看護学、家庭科教育、児童学の専門家とともに議論する。

主催：日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分科会

後援：日本生命科学アカデミー

PROGRAM

- 司会 鈴木恵美子（日本学術会議連携会員、お茶の水女子大学名誉教授）
- 13:30 開会挨拶
多屋淑子（日本学術会議連携会員、日本女子大学名誉教授）
- 13:40 開催趣旨説明
守随 香（日本学術会議連携会員、共立女子大学家政学部教授）
- 14:00 『子育て支援事業の最前線からみえるもの
ー繋がりとぬくもりの不足ー』
新澤拓治（社会福祉法人雲柱社 子育て支援コーディネーター）
- 14:25 『子育て期の家族のウェルビーイングー予防的子育て支援の重要性ー』
浅野みどり（日本学術会議連携会員、名古屋大学大学院医学系研究科
総合保健学専攻教授）
- 14:50 『すべての人が子育て力をもつためにー生涯教育からの提案ー』
工藤由貴子（日本学術会議連携会員、和洋女子大学総合研究機構
家庭科教育研究所特別研究員）
- 15:15 『子どもの育ちに還元される子育て支援』
田代和美（和洋女子大学人文学部教授）
- 15:40 休憩
- 15:50 全体討議
- 16:30 閉会挨拶
都築和代（日本学術会議連携会員、関西大学環境都市工学部教授）

2/24(金)2023年 13:30ー16:40

会場：日本学術会議 講堂(ハイブリッド開催)

東京都港区六本木7-22-34(千代田線・乃木坂駅下車)

または オンライン開催

参加申し込み：2月17日(金)までに、下記URL

もしくは右のQRコードからお申し込みください。

(申込後確認メールが届きます。)

<https://forms.gle/FBQVqBMJ7Dkf3uxN8>



問合わせ先：共立女子大学家政学部 守随 香

kshuzui@kyoritsu-wu.ac.jp

子育て支援の継続性を高めるために
—— 新たな視点の提案 ——